

令和5年度シラバス

(Iコース3年理系)

日本大学東北高等学校

目 次

学校シラバス	…	1
I コース 3 学年教育活動シラバス	…	2 ~ 3
現代文 B	…	4 ~ 6
古典 B	…	7 ~ 10
現代社会	…	11 ~ 13
数学 II	…	14 ~ 16
数学 III	…	17 ~ 22
物理	…	23 ~ 26
化学	…	27 ~ 31
生物	…	32 ~ 34
体育	…	35 ~ 38
コミュニケーション英語 III	…	39 ~ 41
英語表現 II	…	42 ~ 43
情報の科学	…	44 ~ 46
総合的な探究の時間	…	47 ~ 48

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

- 1 奉仕と思いやりの心を持つ
- 2 新校舎を大切に学ぼう
- 3 対策をして楽しもう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育, 教科指導を計画的に推進し, 学力の定着と向上を図り, 生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し, 生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し, 幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に, 学外からの出前講座, 教員による校内講座を行い, 幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し, グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で, 英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で, 英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に, ケンブリッジ大学・オーストラリア海外語学研修を実施する。(令和4年度は派遣中止)
自主的・主体的な学習への取り組みを通して, 社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し, 生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に, 春期特別指導を実施する。 4 大学進学に向けて, 各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して, 生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して, 人間的成長を促し, 円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して, 団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して, 心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して, 自主性や創造性, 協働性を身に付けるとともに, 仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して, 広く芸術に触れ, 親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて, 自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに, 安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画, 防災マニュアル(安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル)を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練, および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業, ホームルーム活動を通じて, 安全や健康について学習する。 4 交通安全教室, スマホ安全教室等を実施し, 生徒の危機管理意識を育成する。

I コース3学年 教育活動シラバス

月	指導内容等	指導のねらい
4	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期始業式・対面式 ・①体育クラス強化部集会 ・服装頭髪指導 ・登校指導・自転車安全教室 ・春季特別授業 ・後援会紙上総会，学級懇談会 ・基礎学力到達度テスト ・個人面談 ・シェイクアウト訓練 ・①進路希望調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと目標の設定 ・生徒の自律，自覚指導 ・規範意識の高揚 ・登校時の安全指導 ・春季特別授業 ・保護者との連携 ・学力向上への啓蒙 ・精神面・生活面・学習面の個別指導・情報把握 ・防災避難訓練 ・進路を考える「力」の育成
5	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会 ・春の交通安全登校指導，自転車点検 ・校内体育大会 ・①参観授業 ・進路ガイダンス『志望理由書』 ・1学期中間試験 ・下宿訪問 ・①学校生活アンケート ・身だしなみ向上週間 ・①英検 ・①日大チャレンジ模試 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動への自主的参加 ・登校時の安全指導 ・級友と一致団結を図る ・授業の公開及び保護者との連携強化 ・受験を見据えた準備 ・普段の学習及び学力の定着確認 ・下宿生に対する生活指導 ・生徒の悩み等の把握 ・自己管理の徹底 ・資格取得へのチャレンジ ・進学に向けた学力向上を図る
6	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替え，身だしなみ向上週間 ・①漢検 ・①数検 ・1学期期末試験 ・校外補導 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・資格取得へのチャレンジ ・資格取得へのチャレンジ ・普段の学習及び学力の定着確認 ・校外補導
7	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象進学説明会 ・アカシア祭 ・進路ガイダンス『入試の仕組み』 ・三者面談 ・基礎学対策模試 ・1学期終業式 ・夏季進学補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・新たな自己の発見及びクラスメイトとの協働 ・受験準備 ・生徒の状況把握 ・基礎学力到達度テスト対策 ・1学期のまとめ ・学力の定着及び受験対策
8	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季進学補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着及び受験対策
9	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・服装頭髪指導 ・②体育クラス強化部集会 ・進路ガイダンス『出願準備』 ・校内日大模試 ・秋の交通安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期スタート指導 ・規範意識の高揚 ・生徒の自律，自覚指導 ・受験準備 ・学力の定着確認及び受験対策 ・登校時の安全指導

	<ul style="list-style-type: none"> ・②進路希望調査 ・生徒会役員選挙 ・②参観授業 ・②学校生活アンケート ・基礎学力到達度テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を考える力の育成 ・生徒会活動への積極的な参加 ・保護者との連携 ・生徒の悩み等の把握 ・日本大学付属高等学校等推薦入試
10	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替え，身だしなみ向上週間 ・校内運動会 ・面談日 ・②英検 ・2学期中間試験 ・芸術鑑賞会 ・②漢検 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・HR集団づくり ・保護者との連携及び生徒の受験指導 ・資格取得へのチャレンジ ・普段の学習及び学力の定着確認 ・文化面及び情操面の教育 ・資格取得へのチャレンジ
11	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ向上週間 ・学校推薦型選抜入試対策期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・進路を考える「力」の育成
12	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ向上週間 ・2学期期末試験 ・学年集会 ・2学期終業式 ・クリスマスフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・普段の学習及び学力の定着確認 ・規範意識，卒業に向けた意識の高揚 ・2学期の総括 ・文化活動の発表体験
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・服装頭髪指導 ・③体育クラス強化部集会 ・③英検，③漢検 ・学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期へのスタート指導 ・規範意識の高揚 ・生徒の自律，自覚指導 ・資格取得へのチャレンジ ・規範意識，卒業に向けた意識の高揚
2	<ul style="list-style-type: none"> ・予餞会 ・②数検 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生送別会 ・資格取得へのチャレンジ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・賞状授与式，卒業式予行演習 ・卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の総括 ・3年間の総括

科目	単位数	対象学年	対象クラス
現代文 B	3	3 学年	I コース理系

教科書名 新編 現代文 B (数研出版) ※継続使用

副教材名 現代語練習帳ことのは (いわずな書店) ※継続使用

改訂版よむナビ現代文 2.5 修練編 (尚文出版)

新版六訂カラー版新国語便覧 (第一学習社) ※デジタル版 ※継続使用

1. 科目目標

- ①近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
 ②出題者の意図を読み取りながら、設問を分析して問題を解く読解方法を身につける。
 ③語彙力を高め、ものの見方や感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	4	○基礎学力到達度テスト演習 「よむナビ現代文」 1・2・4・5 【基礎学力到達度テスト：4/20】	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。 『現代語練習帳ことのは』の小テストを通して、入試に必要な語彙力を身につける。
		○随想 東 浩紀「弱いつながり」	○文章の展開と構造から筆者の主張を読み取る 対比的な表現に注目し、発想の根幹を理解する
		○評論 島村 輝「子どもの言葉」	○子どもと大人、そして詩人の言葉の違いを考える ことで、「言葉の力」を理解する。
	5	○「よむナビ現代文」 3・7 【1 学期中間試験：5/22～】	
		○評論 港 千尋「文化としての色」	○色彩をテーマに論じた日本文化論に興味関心 をもち、灰色について考察し積極的に肯定する 筆者の意見を読み取る。茶の湯（日本文化）に ついて理解を深める。
	6	○小説 原田 ハマ『無用の人』	○主人公が「父」から送られた「鍵」の意味を理 解する過程を読み取り、主人公や「父」の美意 識、主人公からみた「父」の人生について考え る。
		○「よむナビ現代文」 9・10 【1 学期期末試験：6/27～】 【夏課題】 「現代練習帳ことのは」確認PDF配信	
		【課題・提出物】 「授業ノート」「よむナビ現代文 2.5 プラス」「小テスト」等	
		【1 学期の評価方法】 定期試験の素点に 30%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、 学期末ごとに総合評価を付ける。	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	○基礎学力到達度テスト演習 「よむナビ現代文」 14 ・ 16 ・ 18 ・ 19 【基礎学力到達度テスト：9/28】	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。
		○評論 上田 紀行 「内的成長」社会へ	○言い換えに着目して読解し、筆者の主張を読み取る。
	10	○小説 山田詠美 『ひよこの眼』	○一人称回想形式の語りに留意し、謎とその解答の意味を読み取る。事故の現在について考える。
		○「よむナビ現代文」 15 ・ 21 【2学期中間試験：10/10～】	○人物の置かれた状況や言動、風景描写など描かれるさまざまなものから心情を読み取る。
	11	○評論 岩井克人 「ホンモノのおカネの作り方」	○貨幣とそれを利用した経済活動の基本的な発送を学ぶ。逆説的な表現による論理展開の面白さを学ぶ。二項対立的な事象の提示による説明の明解さを学ぶ。※現代のデジタルマネーについても学習する。
	12	○小説 中島敦『山月記』	○本文から登場人物の性格と心情を読み取る。また、現代人の生き方や自我に関わる問題として身近に捉え、主題について考える。
		○「よむナビ現代文」 22 ・ 23 ・ 【2学期期末試験：12/4～】 【冬課題】 「よむナビ現代文」 13 ・ 24 ・ 25	※100字要約練習1～3を含む。
【課題・提出物】 「授業ノート」「よむナビ現代文2.5プラス」「小テスト」等			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点に20%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12	○ことのは漢字テスト総合問題	○確認テストを通じて獲得した語彙を確認する。
	1	○高校3年間で振り返り短歌を作り、 クラス紙上短歌会を実施する。	○自分の体験を文芸として言語化し、3年間の思い出をクラス内で発表し合い、共有する。
【課題・提出物】「創作短歌」「よむナビ現代文2.5プラス」「小テスト」等			
【年間の学習状況の評価方法】 1～2学期の定期試験の素点に20%を上限とした平常点（3学期分を含む）を加味して総合評価を付ける。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	○授業に取り組む態度・姿勢 ・意欲的に授業・学習活動に取り組んだか。 ○学習課題への取り組み ・問題や問いに対して答えようとしていたか。	○授業態度や学習活動への取り組み方 ○課題(ノート・その他)の提出状況
思考・判断	○筆者(作者)の考えや主張に対する理解状況 ・作品を読み、筆者(作者)の考えや主張を理解しているか。 ・情景描写等を基に人物の心情を理解しているか。 ・さまざまな語彙や表現技法等に注意しながら、本文の内容を理解しているか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック ○定期試験・模試
技能・表現	○考えや感想をまとめる ・筆者(作者)の考えや主張を記述等で表現できるか。 ・自分の考えや感想を記述等で表現できるか。 ・短歌(31文字)を通じて、高校での思い出を心情豊かに表現できたか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック ○定期試験・模試 ○短歌への取り組み
知識・理解	○語彙力や表現力の活用・応用 ・「よむナビ現代文2.5プラス」等を活用し、さまざまな表現技法を身に付けたか。 ・「現代語練習帳ことのは」等を活用し、語彙力の向上に努めたか。	○定期試験・模試 ○小テスト ○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

<p>○忘れ物や課題の提出遅れ等のないように取り組むこと。</p> <p><毎時間準備するもの> 教科書・iPad(配布カード)・辞書(Web)</p> <p>※「よむナビ現代文2プラス」「国語便覧」・「現代語練習帳ことのは」必要に応じて持参すること。</p> <p>○問題や問いに対して解決しようとする姿勢をもつこと。教材等から語彙力・表現力を身につけようとしながら基礎学力の定着を図ること。</p> <p>○主体的かつ意欲的に学習に取り組むこと。辞書(iPadのWeb機能)や・デジタル便覧等を活用し、調べて考えること。</p>
--

科目	単位数	対象学年	対象クラス
古典B	2	3	Iコース理系

教科書名 古典B (教育出版)

副教材名 必携これからの古典文法 (尚文出版) 古典文法練習ノート (尚文出版)

精選漢文 (尚文出版) 精選漢文基本練習ノート (尚文出版)

古典グレートラーニング 48 レベル1 (尚文出版)

古典文法集中トレーニング 用言編/助動詞編/敬語・識別編 (いわずな書店)

改訂版よむナビ古典 2.5 修練編 (いわずな書店)

新版六訂カラー版新国語便覧 (第一学習社) ※デジタル版 継続しよう

1 科目目標

- ①古文と漢文を読むことを通して日本文化や日本文化に影響を与えた中国文化を学び、広い視野と多様な思考を育成する。
- ②古典作品を通して古人の考えを理解する。
- ③文法や語彙、古典知識を学び古典文学を読み解く力を身に付ける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	○基礎学力到達度テストに向けての演習 授業 (3~4) 【基礎学力到達度テスト : 4/20】	○2年次の既習内容 (古典の語彙・文法・知識等)を確認する。
	5	○ <u>古文</u> 歴史物語「大鏡」〈南院の競射〉 (6) ○ <u>漢文</u> 逸話「後漢書」〈糟糠之妻〉(4) ○古典の演習(1~2) 「よむナビ古典」 「古典文法集中トレーニング」 【1学期中間試験 : 5/22~】 【日大チャレンジ模試 : 5/31】	○歴史物語のエピソードや登場人物の人間像を的確に捉え、敬語に注意しながら作品の価値を理解する。 ○故事・逸話に語句の意味や用法を用いて故事成語の成り立ちを理解する。 ○演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を用いた実践的な読解方法を身に付ける。

	6	<p>○古文 評論「無名抄」〈俊成自讃歌のこと〉(4～5)</p> <p>○漢文 歴史「史記」〈刎頸之交〉(6)</p> <p>○古典の演習(2～3) 「よむナビ古典」 「古典文法集中トレーニング」</p> <p>【1学期期末試験：6/27～】</p> <p>【夏季休業課題】 「よむナビ古典」「古典文法集中トレ」 「古典グレートラーニング48」</p>	<p>○和歌に関する評論を読み、作品の根底にある発想を知ることによって作品を読解・鑑賞する力を育成するとともに、わが国の伝統と文化を理解する。</p> <p>○中国の正史を学び、壮大な歴史や人物関係、人物像に触れることで広い視野と多様な思想を育成する。</p> <p>○長文を通して漢文の表現に慣れ、語句や句形の知識を身に付ける。</p> <p>○演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を用いた実践的な読解方法を身に付ける。</p>
	7	<p>【課題・提出物】</p> <p>○授業ノート・よむナビ古典2.5・古典文法集中トレーニング・古典グレートラーニング48等</p> <p>○授業内で小テストを実施する。</p> <p>【1学期の評価方法】</p> <p>定期試験の素点に30%を上限とした平常点(課題・提出物・小テスト・授業態度等)を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。</p>	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>【校内日大模試：9/1】</p> <p>○古文 日記文学「蜻蛉日記」 〈鷹を放つ〉(6)</p> <p>○古典の演習(4～5) 「よむナビ古典」 「古典文法集中トレーニング」</p> <p>【基礎学力到達度テスト：9/28】</p>	<p>○女性による日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに作品に表れるものの見方や感じ方、考え方を身に付ける。</p> <p>○演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を用いた実践的な読解方法を身に付ける。</p>

10	<p>○漢文 思想「韓非子」〈侵官之害〉(4)</p> <p>【2学期中間試験：10/10～】</p>	<p>○韓非子の思想を理解する。</p> <p>○思想の生まれた時代背景について理解を深め、韓非子の思想がわが国の文化や社会に与えた影響について学習する。</p>
11	<p>○漢文 小説「搜神記」〈千日酒〉(6)</p> <p>○古文 随筆「枕草子」〈二月つごもりころに〉(5)</p> <p>○古典の演習(3～4) 「よむナビ古典」 「古典文法集中トレーニング」</p>	<p>○六朝時代に始まった「志怪小説」について知り、中国の小説の流れに理解する。</p> <p>○全体を起承転結に整理し、小説としての効果的な構成を理解する。</p> <p>○「枕草子」を読み、その自由な感性と文体の魅力にふれ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を身に付ける。</p> <p>○演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を用いた実践的な読解方法を身に付ける。</p>
12	<p>○漢文 文「帰田録」〈売油翁〉(4)</p> <p>【2学期期末試験：12/4～】</p> <p>○漢文 史話「春秋左氏伝」〈宋襄の仁〉(3)</p> <p>○古文 和歌〈王朝の和歌〉(4～5)</p> <p>【冬季休業課題】 「よむナビ古典」</p>	<p>○唐宋八大家として著名な欧陽脩の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を身に付ける。</p> <p>○書き手や文章中の人物の人間・社会・自然などに対する思想や感情を読み取る力を育成する。</p> <p>○代表的な和歌を読み、人間・社会・自然などに対する心情を理解する。</p> <p>○和歌の修辞法を理解する。</p>
<p>【課題・提出物】</p> <p>○授業ノート・よむナビ古典 2.5・古典文法集中トレーニング・古典グレートラーニング 48 等</p> <p>○授業内で小テストを実施する。</p>		
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>定期試験の素点に20%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	○古文 和歌〈王朝の和歌〉(4～5)	
		【課題・提出物】 ○授業ノート・よむナビ古典2.5・古典文法集中トレーニング・古典グレートラーニング48等	
【年間の学習状況の評価方法】 1～2学期の定期試験の素点に20%を上限とした平常点(3学期分を含む)を加味して総合評価を付ける。			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
関心・意欲・態度	○授業に取り組む態度 ・教材に興味を持って意欲的に学習活動に取り組んでいるか。 ○学習課題への取り組み状況 ・古典文学を理解するための努力をしているか。	○授業態度や学習活動への取り組み方 ○課題等の提出状況
思考・判断	○古典文法を応用した文意の理解状況 ・古典文学を読み、内容を把握し、登場人物の心情を読み取り、作者の考え方を理解しているか。	○学習活動への取り組み状況 ○ワークシートやノートのチェック ○定期テスト・模試
技能・表現	○感想や意見のまとめ ・語彙や文法事項、古典知識に注意し、本文を読み理解しているか。	○学習活動への取り組み状況 ○ワークシートやノートのチェック ○定期テスト・模試
知識・理解	○古典語の語彙や表現力の活用と応用 ・古典の基礎知識が身に付いているか。 ・古典文学を読むことで、広い視野や柔軟な思考を育むことができているか。	○小テスト ○定期テスト・模試 ○学習活動への取り組み状況

4 学習サポート(事前・事後学習等について)

<p>○予習と復習を怠らないこと。「これからの古典文法」「精選漢文」を使って自主的に学習活動に励み、基礎学力の向上を努めること。</p> <p>○主体的かつ意欲的に学習活動に参加すること。</p> <p>○忘れ物や課題の提出遅れの等のないように取り組むこと。</p> <p>《毎時間準備するもの》</p> <p>【古文分野】…教科書・ノート・これからの古典文法等</p> <p>【漢文分野】…教科書・ノート・精選漢文等</p>

科目	単位数	対象学年	対象クラス
現代社会	2	3 学年	I コース文・理共通

教科書名 高等学校 新現代社会 新訂版 (清水書院)

副教材名 2024 大学入試共通テスト対策 つかむ現代社会「新センター現代社会」改訂版 (浜島書店)

1. 科目目標

- 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めることにより、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方、生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。
- 思想は歴史的背景と前時代の課題を受けて成立するものであり、先哲の思想を学ぶことで人間とは何か、自分はどうかあるべきかを深く探求する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第1編 青年期と自己の形成 第1章 青年のあり方と現代 1 青年期と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・内なる自分をしっかり見つめ、孤独感・劣等感など青年期特有の心理に関する理解を習得する。 ・学び続けることの意義を理解する。 ・青年期における人格の形成に大きく影響を及ぼす社会環境とは、家族や友人、学校だけでなく、読書やマスコミ、政治・経済や社会的価値観なども含む広範囲なものであることを理解する。 ・「知ること」「学ぶこと」の目的や探究・学習・研究の方法など、学びの基本を理解する。 ・先哲の思想や実践活動から生命の尊重、人間の尊厳、それらを基本原則とする民主社会のあり方について抽象的理論倒れにならぬよう具体的に理解する。
	5	2 自分らしさとは何だろうか 3 現代社会と私たち 第2章 現代に生きる倫理 1 学びの源流 ギリシア哲学 1 学期中間試験	
	6	2 私たちの生き方と宗教 3 中国の伝統思想 第3章 近・現代の社会と倫理 1 近代思想の形成 2 人間の自由と幸福 1 学期期末試験	
【課題・提出物】 期末試験後に授業ノート・ワークノート提出			
【第1学期の評価方法】 ①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。 ②学習課題、および学習態度の平常点 (30%以内)			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	第2編 現代の民主政治と法 第4章 現代日本の政治機構と政治参加 1 国会の役割と仕組み 2 内閣と行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ・国会が国権の最高機関であると憲法に規定されているが、実際には地位が低下していること、国会中心の政治を展開するために必要なことを考察する。 ・日本国憲法における議院内閣制の意義や、内閣と内閣総理大臣の権限について理解する。 ・裁判制度については、三審制のしくみや最高裁判所の地位と権限を理解し、裁判員制度についての理解を深める。
	10	3 裁判所の役割 4 裁判と裁判員制度 2学期中間試験	
	11	第3編 現代の経済 第1章 経済社会とその仕組み 1 市場と経済主体 2 経済成長と景気変動 3 金融とその働き 4 財政とその働き 5 資本主義社会のしくみとその変容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済をかたちづくる3つの部門の役割と機能について考察する。 ・市場機構によって解決できない問題など、具体例を通して理解する。 ・経済指標としての国民所得やGDP、および国民生活の豊かさを支えるフローとストックの意味を理解する。 ・金融に関する基礎知識及び、しくみを理解する。 ・マネーサプライと金融機関の意義を理解する。 ・財政のしくみや租税についての基礎知識を理解する。 ・資本主義経済のしくみとその特徴を理解する。 ・資本主義経済の発展と変容を、その矛盾を克服する試みとして登場した社会主義経済と比較しながら理解を深める。
	12	2学期期末試験	
<p>【課題・提出物】 期末試験後に授業ノート・ワークノート提出</p> <p>【第2学期の評価方法】 ①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。 ②学習課題、および学習態度の平常点（20%以内）</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	第2章 経済活動のあり方 1 日本経済のあゆみ 2 現代の企業とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ・明治以降から現代にいたるまでの日本経済の発展過程を、それぞれの時期の特徴を踏まえて理解する。 ・企業のおかれている現状を理解し、企業の責任など、新しい問題への取り組みなどを考察する。

<p>【課題・提出物】 授業ノート・ワークノート提出</p>
<p>【第3学期の評価方法】 ○授業に対する意欲と関心</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】 ○総合評価は、学期末ごとに行う。総合成績には平常点が含まれる。 ○平常点は以下を踏まえて、20%以内とする。(1学期のみ30%以内) ①授業に対する意欲と関心 ②課題等への取り組み(宿題・レポート等) ③年数回のノート提出(板書事項・配布プリントの確認)</p>

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	現代社会に興味・関心を持ち、自ら進んで授業参加と、積極的な発言ができています。	○授業の様子 ○授業ノート
思考・判断	偏見を除き、公平・公正な立場から社会的判断を身につけることができています。	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
技能・表現	授業で得た知識をもとに、社会において必要な表現力を導き出すことができています。	○授業の様子 ○定期試験
知識・理解	授業内容を適切に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができています。	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

<p>現代社会は時事問題などを例に挙げ、新聞やニュースで聞いたことのある内容も勉強し、卒業後に社会を生き抜く必要な知識が身につくよう、サポートしていきたい。</p> <p>苦手意識を持たずに積極的な授業参加を期待しているが、理解できなかったこと、疑問点があれば、どんどん質問に来てほしい。</p>
--

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	2	3 学年	I コース理系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A・Ⅱ+B・Ⅲ (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい（□はチェックリスト）
1 学 期	4	<input type="checkbox"/> 基礎学力到達度テスト(4/20)	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、 しっかり解けるような学力を身につける。
	5	基礎学力到達度テスト対策 [8] <input type="checkbox"/> 1 学期中間試験(5/23～26) 1 学期中間まで【8】	
		<input type="checkbox"/> 日大チャレンジ模試(5/31) 基礎学力到達度テスト対策 [8]	
		<input type="checkbox"/> 1 学期期末試験(6/27～30) 1 学期期末まで【8】	
	7	<input type="checkbox"/> 基礎学対策模試(7/18)	
【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・春季課題			
【第1学期の評価方法】 定期試験の成績(70%)・・・1 学期中間試験・1 学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(30%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題の提出状況进行评估する。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	基礎学力到達度テスト対策 [6]	基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い、基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。 進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。
		基礎学力到達度テスト(9/28)	
	10	2学期中間試験(10/10～13)	
	11	2学期中間まで【3】	
	12	高校数学総復習	
		2学期期末試験(12/4～7)	
		2学期期末まで【26】	
【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・夏季課題			
【第2学期の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・2学期期末試験(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況を評価する。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期		高校数学総復習	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。 大学入学後もしっかり授業についていけるような学力を身に付ける。
	1	大学数学への準備	
		特別授業(1/12～26)	
【課題・提出物】			
【第3学期の評価方法】			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計3回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況を評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1 学年から積み重ねてきた知識の集大成です。1 学年、2 学年の数学で解らない部分は、早い時期に復習するなど、教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に、少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し、授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となります。更なる自己の成長のため、諦めずに最後まで頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅲ	6	3学年	Iコース理系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学Ⅲ (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい（□はチェックリスト）
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [4] 基礎学力到達度テスト(4/20)	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、 しっかり解けるような学力を身につける。
		第2章 関数 [7] 分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	<input type="checkbox"/> 分数関数の性質を理解し、漸近線も含めたグラフのイメージができる。 <input type="checkbox"/> 無理関数の性質を理解し、定義域や値域も含めたグラフのイメージができる。 <input type="checkbox"/> 逆関数の考え方を理解し、様々な関数の逆関数について考察ができる。 <input type="checkbox"/> 合成関数の考え方を理解し、様々な関数の合成関数を求めることができる。
	5	第4章 極限 第2節 関数の極限 [11] 関数の極限(1) 関数の極限(2) 三角関数と極限 関数の連続性 1学期中間試験(5/22~25) 1学期中間まで【18】 日大チャレンジ模試(5/31)	<input type="checkbox"/> 第2章で学んだ関数の極限について求めることができる。 <input type="checkbox"/> 片側からの極限について考察ができる。 <input type="checkbox"/> 三角関数の極限について、式変形を行い考察することができる。 <input type="checkbox"/> 関数の連続性について考察し、連続関数の性質を理解できる。

6	<p>第1章 複素数平面 [10]</p> <p>複素数平面</p> <p>複素数の極形式</p> <p>ド・モアブルの定理</p> <p>複素数と図形</p> <p>第5章 微分法 [12]</p> <p>第1節 導関数(6)</p> <p>微分係数と導関数</p> <p>導関数の計算</p> <p>第2節 いろいろな関数の導関数(6)</p> <p>いろいろな関数の導関数</p> <p>第n次導関数</p> <p>曲線の方程式と導関数</p>	<p><input type="checkbox"/> 複素数平面の実軸，虚軸について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数を複素数平面上に表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数の和や差，実数倍を図示できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数を極形式で表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数の積と商を，極形式の性質を使って表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数の積について複素数平面上で考察し，回転移動について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> ド・モアブルの定理について理解し，利用できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 複素数方程式で表される図形が，どんな図形を表しているか考察できる。</p> <p>関数の積・商，合成関数，三角関数，指数関数・対数関数の導関数について理解し，それぞれの導関数の導関数の解法を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/> 微分係数の図形的意味，微分可能性と連続性の関係について理解できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 導関数の定義に従って微分することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 積，商の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 合成関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 逆関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 指数が有理数である関数を微分できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 三角関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 対数関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 指数関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 対数微分法を利用して，複雑な関数を微分することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 第2次導関数，第3次導関数を求めることで，第n次導関数を予想して求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 方程式 $F(x, y) = 0$ を関数とみて，合成関数の導関数を利用して微分することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 媒介変数 t で表された関数の導関数を，t の関数として表すことができる。</p>
	<p>1 学期期末試験 (6/27～30)</p> <p>1 学期期末まで 【24】</p> <p>基礎学対策模試 (7/18)</p>	7

	【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・春季課題		
	【第1学期の評価方法】 定期試験の成績(70%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(30%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題の提出状況の評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい (□はチェックリスト)
2 学 期	9	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">校内日大模試(9/4)</div> 第6章 微分法の応用 第6章 微分法の応用 [11] 第1節 導関数の応用(8) 接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ 基礎学力到達度テスト対策演習 [10] <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">基礎学力到達度テスト(9/28)</div> 第2節 いろいろな応用(3) 方程式, 不等式への応用	導関数を用いているいろいろな曲線の接線の方程式, いろいろな関数の値の増減, 極大・極小, グラフの凹凸や概形を調べながら, それらを事象の考察に活用する。 <input type="checkbox"/> 公式を利用して, 接線の方程式や法線の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 傾きや通る点から接線の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> $F(x, y) = 0$ で表された曲線の方程式を, 陰関数の微分法を利用して求めることができる。 <input type="checkbox"/> 平均値の定理とその図形的意味を理解し, 具体的に c の値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 関数の極値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 関数の極値が与えられたとき, 必要十分条件に注意して関数を決定することができる。 <input type="checkbox"/> 関数の最大値・最小値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 第2次導関数を利用して, 変曲点の座標を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 関数の増減, 凹凸, 変曲点, 漸近線, 定義域, $x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態などを調べてグラフをかくことができる。 <input type="checkbox"/> 第2次導関数を利用して極値を求めることができる。 基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い, 基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 導関数を利用して, 不等式を証明することができる。 <input type="checkbox"/> 方程式 $f(x) = a$ の実数解の個数をグラフなど利用しながら求めることができる。

11	<p>速度と加速度</p> <p style="text-align: center;">2学期中間試験(10/10~13)</p> <p style="text-align: center;">2学期中間まで【21】</p> <p>第7章 積分法とその応用</p> <p>第1節 不定積分(7)</p> <p>不定積分とその基本</p> <p>置換積分法と部分積分法</p> <p>いろいろな関数の不定積分</p> <p>第2節 定積分(9)</p> <p>定積分とその基本性質</p> <p>置換積分法と部分積分法</p> <p>定積分のいろいろな問題</p>	<p>□媒介変数表示された点の座標から、直線上や平面上を運動する点の速度、加速度を導関数、第2次導関数を利用して求めることができる。</p> <p>積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用する。</p> <p>□不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して x^p、三角関数、指数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>□被積分関数の形の特徴から、置換積分法を利用して不定積分を求めることができる。</p> <p>□被積分関数の形の特徴から、部分積分法を利用して不定積分を求めることができる。</p> <p>□分数関数を割り算や部分分数分解することで、不定積分を求めることができる。</p> <p>□三角関数の公式を利用して、不定積分を求めることができる。</p> <p>□定積分の定義や性質を理解し、それを利用して様々な関数の定積分の計算ができる。</p> <p>□絶対値を含む関数の定積分が面積を表していることを理解し、その計算ができる。</p> <p>□置換積分法において、積分区間の変換に注意しながら定積分の計算ができる。</p> <p>□積分区間が原点対象のときの偶関数、奇関数の定積分の計算ができる。</p> <p>□定積分の部分積分法を理解し、それを利用して様々な関数の定積分が計算できる。</p> <p>□上端、下端が x である定積分を x の関数とみて、導関数によって x の関数を求めることができる。</p> <p>□特別な形をした数列の和の極限を、区分求積法を利用して定積分を計算することができる。</p> <p>□不等式に現れる式の図形的意味を考えることで、定積分を利用して不等式の証明ができる。</p> <p>□直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。</p>
12	<p>第3節 積分法の応用(12)</p> <p>面積</p>	<p>□直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。</p>

	<p>体積</p> <p>道のり</p> <p>曲線の長さ</p> <p style="text-align: center;">2学期期末試験(12/4~7)</p> <p style="text-align: center;">2学期期末まで【33】</p>	<p><input type="checkbox"/>媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を、置換積分の考えで計算して求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>立体の断面積を積分することで、体積を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>x軸やy軸を軸とする回転体の断面が円になることを理解し、回転体の体積を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>数直線上を運動する点の座標や道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>媒介変数表示された平面上の点の座標から、道のりを定積分を用いて求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>媒介変数表示された関数を、定積分を利用して曲線の長さを求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>$y = f(x)$から定積分を用いて、曲線の長さを求めることができる。</p>	
<p>【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・夏季課題</p>			
<p>【第2学期の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・2学期中間試験・2学期期末試験(期末時は年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況 を評価する。</p>			
	月	学習内容	学習のねらい(□はチェックリスト)
3 学 期	12	高校数学総復習	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。 大学入学後もしっかり授業についていけるような学力を身に付ける。
	1	大学数学への準備	
<p>【課題・提出物】</p>			
<p>【第3学期の評価方法】</p>			
<p>【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計4回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況 を評価する。</p>			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1 学年から積み重ねてきた知識の集大成です。1 学年、2 学年の数学で解らない部分は、早い時期に復習するなど、教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に、少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し、授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となります。更なる自己の成長のため、諦めずに最後まで頑張りましょう。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	5	3	I コース理系

教科書名 改訂 物理 (東京書籍)

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理 (東京書籍)

1. 教科目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。
3. 物理の学習を通じて、主体的に学び続ける姿勢と、他者と協働して学習する態度を身に付ける。

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	7 気体の状態変化	定積・定圧・等温・断熱変化について理解する。 熱機関について理解する。 ※気体分子の運動エネルギー復習	
		1 気体の状態変化 2 熱機関と熱力学第2法則		
	5	1 波の性質	1 波の表し方	正弦波を表す式について学ぶ。 ホイヘンスの原理について理解する。 波の干渉と回折について理解する。 反射の法則、屈折の法則を理解する。 ドップラー効果について理解する。 反射・屈折の法則について理解する。 分散・散乱・偏光について理解する。 レンズの性質、レンズによる像について学ぶ。 ヤングの干渉実験、回折格子、薄膜による干渉について理解する
		2 音	ドップラー効果	
		3 光の性質	1 光の進み方 2 光の性質 3 レンズと鏡面鏡 4 光の回折と干渉	
		1学期中間試験 基礎学対策模試 (日大チャレンジ模試)		
	6	1 電場	1 静電気力 2 電場 3 電位	クーロンの法則について学ぶ。 電界の概念を理解し、電界の合成や電界から電荷が受ける力について学ぶ。 電位の概念を理解し、点電荷による電位や一様

		<p>4 コンデンサー</p> <p>2 電流</p> <p>1 電流</p> <p>2 直流回路</p> <p>3 非線形抵抗</p> <p>基礎学力到達 度テスト対策</p> <p>1 学期期末試験</p>	<p>な電界における電位について理解する。 コンデンサーが充電する電荷、たくわえるエネルギーについて学ぶ。 コンデンサーの並列接続、直列接続について学ぶ。 電流の定義やオームの法則の復習をする。 キルヒホッフの法則を用いて複雑な回路について解析をする。 電球などの非線形抵抗について理解する。 基礎学力到達度テスト対策を始める。</p>	
		<p>【課題・提出物】</p> <p>・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル</p>		
		<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>定期試験 + 平常点 (ニューグローバルの取り組み, 授業に対する意欲・積極性)</p>		
	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	7	夏季進学補習	既習事項の復習	
	8	基礎学対策, 一般入試対策演習	基礎学力到達度テストに向けた実践演習	
	9	基礎学力到達度テスト対策実践演習		
		基礎学力到達度テスト		
		3 電流と磁場	1 磁気力と磁界 2 電流がつくる磁場	電場と比較しながら磁場を理解する。 電流のつくる磁界のようすを学ぶ。
	10	2 学期中間試験	3 電流が磁場から受ける力 4 ローレンツ力	磁界が電流におよぼす力について学ぶ。 運動する荷電粒子が磁場から受ける力について理解する。
		4 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 磁界中を運動する導体の棒 3 自己誘導と相互誘導 4 交流	ファラデーの電磁誘導の法則を理解する。 磁界中を運動する導体棒に生じる誘導起電力について理解する。 自己誘導、相互誘導、コイルがたくわえるエネルギーについて理解する。 交流が発生する仕組みを電磁誘導の法則から理解する。
	11		5 電気振動と電磁波	交流における抵抗、コンデンサー、コイルのはたらきについて理解する。 振動回路、共振、電磁波の発生とその性質につ
	11			

1 2	1 電子と光	1 電子の電荷と質量 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動性	いて理解する。 陰極線の性質について理解する。 ミリカンの実験について理解する。 光電効果について理解し、光量子仮説について考える。 X線の波動性と粒子性について理解する。 波動と粒子の二重性について理解する。
	2 原子・原子核・素粒子	1 原子モデル 2 放射線と原子核 3 原子核反応 4 素粒子と宇宙	ボーアの原子モデルから量子条件について理解する。 放射線の性質と原子核の崩壊について理解する。 質量とエネルギーの等価性について理解する。 核分裂と核融合について理解する。 素粒子の分類、性質について理解する。
	2 学期期末試験		
	【課題・提出物】 ・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・長期休業中課題		
【第2学期の評価方法】 定期試験 + 平常点（課題への取り組み、授業に対する意欲・積極性）			
3 学 期	月	学習内容	学習のねらい
	1	一般入試対策演習	一般入試レベルの物理に触れる。 一般入試で合格できる実力を養成する。
	【課題・提出物】 ・確認テストおよびALリフレクションシート ・冬期休業中課題		
	【第3学期の評価方法】 定期試験 + 平常点（課題への取り組み、授業に対する意欲・積極性）		
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験 + 平常点（課題への取り組み、授業に対する意欲・積極性）			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・ 態度	・自然現象に関心をもち、科学的な見方をしているか。 ・授業に意欲的に参加し、論理的に探究しようとする態度が見えるか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・演習プリントへの取り組み

思考・判断	・さまざまな物理現象を論理的に考察・分析し、その本質を原理や法則から説明できるか。	・グループ活動への取り組み ・定期試験の思考・応用問題 ・演習プリントへの取り組み
技能・表現	・グループ活動において、物理の法則や原理、課題の解法についての的確に表現する方法を習得しているか。 ・課題や実験のレポートにおいて、的確に表現する方法を習得しているか。	・ALの振り返りシート ・定期試験の記述解答
知識・理解	・学習活動を通して、さまざまな自然現象の背景には原理や法則があることを理解できたか。 ・自然現象を定量的に考察するため、物理的な概念や法則を正しく理解できたか。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・ALの確認テスト

4. 学習サポート

1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度を身につけましょう。
2. 物理法則の導出過程を大切にし、論理的な思考力を高めよう。
3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。
4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させましょう。

<定期試験に向けて>

1. 演習プリントで基礎の確認。(教科書、授業プリントの見直し)
2. ニューグローバルを2～3周。

<基礎学力到達度テストに向けて>

1. ニューグローバルでしっかり復習。
2. 過去問題で実践演習。テスト形式で行い、自己採点をして解き直し。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
化 学	5	3	I コース

教科書名 化学(実教出版)

副教材名 ビーライン化学(第一学習社)

ビーライン化学基礎(第一学習社)

とってもやさしい化学(旺文社)

1. 科目目標

化学的な物事，現象に関する基本的な原理，法則，語句の意味を理解し，身の回りの物事，現象を化学的に探求する方法を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	2章 物質の変化と平衡 4節 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・反応には，正反応と逆反応，可逆反応と不可逆反応があることを学習する。 ・化学平衡とはどのような状態か理解する。 ・化学平衡(質量作用)の法則と平衡定数，固体が関係する反応の平衡定数を求める力を育成する。 ・圧平衡定数と濃度平衡定数の関係性について学習する。 ・ルシャトリエの原理について学習する。 ・濃度変化，圧力変化，温度変化，触媒を加えたとき等の状態の変化により起こる平衡移動について学習する。
	5	2. 平衡移動 3. 平衡移動と化学工業 4. 電解質水溶液の平衡 5. 緩衝液と pH	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバーボッシュ法を例にとり，化学工業と化学平衡の関係性について学習する。 ・電離平衡と電離定数，酸の電離定数，塩基の電離定数，電離度と電離定数を求める力を育成する。 ・水の電離平衡を理解し，pHの値を求める力を育成する。 ・塩の加水分解と水溶液の性質について学習する。 ・緩衝作用とは何か理解する。

		<p>3章 無機物質</p> <p>1節 周期表</p> <p>1 周期表と元素の分類</p> <p>2節 非金属元素</p> <p>1 水素と貴ガス</p> <p>2 ハロゲンとその化合物</p> <p>3 酸素、硫黄とその化合物</p> <p>4 窒素、リンとその化合物</p> <p>5 炭素、ケイ素とその化合物</p> <p>1学期中間試験（20時間）</p> <p>3節 金属元素</p> <p>1 アルカリ金属とその化合物</p> <p>2 アルカリ土類金属とその化合物</p> <p>3 1, 2族以外の典型金属元素とその化合物</p> <p>4 遷移元素とその化合物</p> <p>5 金属イオンの分離と確認</p> <p>4節 無機物質と人間生活</p> <p>1 金属の利用</p> <p>2 無機物質の利用</p> <p>3 無機物質と生体</p> <p>4章 有機化合物</p> <p>1節 有機化合物の特徴と構造</p> <p>1 有機化合物の特徴</p> <p>2節 脂肪族炭化水素</p> <p>1 飽和炭化水素</p> <p>2 不飽和炭化水素</p> <p>1学期期末試験（24時間）</p> <p>夏期進学講座</p> <p>3節 酸素を含む脂肪族化合物</p> <p>1 アルコールとエーテル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緩衝液と pH の関係を学習する。 ・難溶性塩の溶解と溶解度積，溶解平衡と沈殿生成，共通イオン効果，溶解平衡と金属イオンの分離を学習する。 ・周期表の構成と単体の性質について理解する。メンデレーエフの功績について学習する。 ・各族ごとの単体と代表的な化合物の性質について学習する。 ・気体の製法および性質について学習する。 ・工業的製法について学習する。 反応の仕組み、製造工程、これに伴った生産量の算出について学習する。 ・各族ごとの単体と代表的な化合物の性質について学習する。 ・両性元素について学習する。 ・遷移元素の特徴について学習する。 ・金属イオンの定性反応を理解し混合溶液からの分離について学習する。 ・軽金属と重金属，卑金属と貴金属，金属の製錬について学習する。 ・ケイ酸塩工業（窯業）について学習する。 ・官能基による有機化合物の分類。表し方を学習する。 ・アルカンの構造式を書き構造異性体を理解置換反応を学習する。 ・アルケンの構造式を書き幾何異性体を理解する。
6			
7			
8			

	2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸とエステル	<ul style="list-style-type: none"> ・アルケン，アルキンの付加反応を学習する。 ・代表的な有機化合物を暗記し利用できるようにする。 ・アルコールを中心とした有機化合物の系統図を書ける力を身につける。 ・エステルの反応機構を理解する。 ・油脂の構造について学習する。
【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート		
【第1学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（70%） ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点（30%） ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 1節 有機化合物の特徴と構造 2 有機化合物の構造式の決定 4節 芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 酸素を含む芳香族化合物 3 窒素を含む芳香族化合物 4 混合物の分離 5節 有機化合物と人間生活 1 エネルギーの利用 2 洗剤 3 染料と染色 4 医薬品 5 有機化合物と生体 10 2学期中間試験（24時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・燃焼分析の実験操作、未知試料の有機化合物の構造決定について学習する。 ・ベンゼンを中心とする芳香族炭化水素の構造および性質，反応性について学習する。 ・元素分析による有機化合物の構造決定について学習する。 ・芳香族化合物の混合物の分離について学習する。 ・薬理作用，生薬，人工薬品としてのアスピリンについて学習する。 ・染料と顔料，天然染料と合成染料，アゾ染料について学習する。 ・界面活性剤と合成洗剤について学習する。 親水性、親油性基について確認し、汚れが落ちる仕組みについて理解する。

2 学 期	11	5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 1 高分子化合物の分類と特徴 2節 天然高分子化合物 1 糖 2 タンパク質 3 核酸 3節 合成高分子化合物 1 合成高分子化合物の分類 2 合成繊維 3 合成樹脂(プラスチック) 4 機能性高分子化合物 5 ゴム 4節 高分子化合物と人間生活 1 繊維 2 機能性高分子 3 資源の再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・有機高分子と無機高分子の違いを理解する。 ・天然高分子と合成高分子について概要を理解する。 ・単糖類、二糖類と六炭糖と五炭糖・デンプン、グリコーゲン・アミノ酸の性質、反応 タンパク質の種類、構造、反応について理解する。 ・核酸の構成について理解する。 ・合成方法の違いと生成物について理解し分類できる力を身につける。 ・プラスチックの分類について理解する。 ・代表的な機能性高分子と性質について理解する。 (イオン交換樹脂、導電性高分子など) ・天然ゴム、合成ゴムとその性質について比較しながら理解する。 ・天然繊維と化学繊維について整理する。 ・繊維強化プラスチック、接着剤・リユース、マテリアルリサイクルについて理解する。
	12	2学期期末試験 (26時間) 共通テスト対策演習 一般試験、二次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・単元別、時間をはかりながら、実践的な演習を行う。
【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・夏季休業中の課題			
【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績 (70%) ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 (30%) ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。			
月	学習内容	学習のねらい	
1	共通テスト対策演習 一般試験、二次試験対策	・時間をはかりながら、実践的な演習を行う。	
【課題・提出物】			

3 学 期	・授業中に配布する演習プリント
	【第3学期の評価方法】 ① 学習態度等の平常点 ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の成績を総合して評価する。	

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・講義式、実験式いずれの授業においても集中力を保つ。 ・授業で得た結果を基に発展的な興味をもって自主的活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容について科学的な捉え方ができる。 ・授業の成果をいかして社会や生活との関連を考えられる。 ・発展的な内容についても思考を展開させられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 ・操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確である。 ・実験結果に対する考察が十分であり、その内容を適切に伝達できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・学んだ内容が関連付けて整理され定着している。 ・知識を用いて発展的な応用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・小テスト ・定期テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

随時、学習相談を実施しているので、つまづいている箇所があれば早めに質問しに来てほしいです。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
生物	5	3 学年	I コース理系

教科書名 生物 (数研出版)

副教材名 スクエア最新図説 (第一学習社) セミナー生物 (第一学習社) 生物ノート (数研出版)

1. 科目目標

<p><u>1. 「生物」の面白さを知る</u></p> <p>「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを実感する。</p> <p><u>2. 学力をつける</u></p> <p>日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テスト、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。</p> <p><u>3. 客観的な視点を育む</u></p> <p>「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。</p>

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 5. 初期発生過程	動物の初期発生の過程を理解する。植物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を理解する。
	5	6. 細胞の分化と形態形成 7. 植物の配偶子形成と発生 1学期中間試験 [25時間]	
	6	第3編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 1. ニューロンと興奮 2 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動 1学期期末試験 [20時間]	ニューロン (神経細胞) の基本的な構造とそのはたらきを理解する。次の、受容器で受け取られた刺激 (情報) が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物 (定期試験範囲、月別範囲)</p> <p>・問題集用ノートの点検</p>			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績 (70%) ② 学習態度等の平常点 (30%)</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	基礎学力到達度テストに向けた演習	
	10	第6章 植物の環境応答 1. 植物の生活と環境応答 2. 発芽の調節 3. 成長の調節 4. 環境の変化に対する応答 5. 花芽形成・結実の調節 2学期中間試験 [25時間]	植物は成長を調節するなどして環境に応答していることを理解する、そのうえで、環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。
	10	第4編生態と環境 第7章 生物群集と生態系 1. 個体群 2. 個体群内の個体間関係 3. 異種個体群間の関係 4. 生物群集 5. 生態系における物質生産 6. 生態系と生物多様性	個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。特にそれぞれの個体群は、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解する。また、生態系における物質生産についても学習する。さらに、生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識させる。
	11	第5編 生物の進化と系統 第8章 生命の起源と進化 1. 生命の起源と初期の生物の変遷 2. 多細胞生物の変遷 3. 進化とそのしくみ	生命の起源および生物の変遷を学習する。その際、生命の誕生や生物の変遷は、地球環境の変化と密接に関係していることを理解する。
	12	第9章 生物の系統 1. 生物の系統 2. 生物の多様性 2学期期末試験 [30時間]	生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解する。その際、形態的な特徴にもとづいた分類ばかりでなく、近年では、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列などの分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても学ぶ。
【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・夏季休業中の課題 ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検			
【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	地球大進化（DVD） 3 学期授業時間 [6 時間] 年間実授業時間 [1 0 6 時間]	地球の誕生から人類の繁栄までを映像で学習し、我々はどうのように進化して現在の形態や生活様式を獲得してきたのか、その過程について理解を深める。
	【課題・提出物】 ・地球大進化に関するレポート		
	【第 3 学期の評価方法】 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の 4 項目について評価する。 ・地球大進化に関するレポートの成績を評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 ①定期試験の成績（80%） ②平常点（20%）			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	・授業時の様子 ・授業ノート
思考・判断	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。	・授業時の様子 ・授業ノート ・定期テスト
技能・表現	科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。また、それを表現することができる。	・授業時の様子 ・定期テスト
知識・理解	・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。	・小テスト ・定期テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、学習相談を実施していますので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。 ・基礎学力到達度テスト・大学入学共通テストに向けて、授業内でも過去問演習や問題の解説等の時間を作っていきます。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	3	3	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育
副教材名 現代高等保健体育ノート

1. 教科目標

生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため
(1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身に付ける。
(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	集団行動 ①挨拶・集合・体形 ②方向変換・列の増減 体づくり運動・体育理論（通年で行う） (1) 体づくり運動 ①体ほぐしの運動 ②実生活に生かす運動の計画 (2) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展（1年次） 運動やスポーツの効果的な学習の仕方（2年次） 豊かなスポーツライフの設計の仕方（3年次） 陸上競技〔走〕ア競争 ①短距離走 ②持久走	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として迅速に、かつ安全に行動できる力を身に付ける。 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。 ②健康に生活をするための体力の向上、運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を養う。 ・以下4項目に関し、体育実技の実施と関連させながら学習する。 ①スポーツの歴史的発展と多様な文化 ②現代スポーツの意義や価値 ③スポーツの経済的効果と高潔さ ④スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・2年次までの学習を踏まえて、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・ルールマナーを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たすことに意欲を持って取り組む。 ・毎年継続して記録する、スポーツテスト〔走〕の種目の自己の目標達成及び記録向上を目指す。

	<p>スポーツテスト（新体力テスト） 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>ソフトテニス</p> <p>① オリエンテーション</p> <p>② グランドストローク (フォア・バック・ロブ)</p> <p>③ バックハンド</p> <p>④ サービス</p> <p>⑤ ルール</p> <p>⑥ ゲーム（簡易ゲーム・ダブルス）</p> <p>理論 ソフトテニスの特性・ルール・試合運営などを学ぶ</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。</p> <p>ソフトテニスの基礎技術を身につけ、ネット型スポーツの特性を理解する。 (生徒自らが)主体的にゲームを中心とした活動が出来る力を育成する。 フォアハンド、ロブを重点に習得し、ラリー（乱打）を継続できる力を身に付ける。 バックハンドの技術, およびサービスを狙った所へ打つことの出来る力を身につける。 生徒の技量に合わせた内容で試合（簡易ゲーム含）が出来る力を身に付ける。</p> <p>生涯スポーツの選択肢の一つとして、ソフトテニスも含まれるような知識、技能を習得する。</p>
<p>【課題・提出物】 期末試験前後にソフトテニスに関するレポート・小テストを実施する。</p>		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>1. 実技試験（60%）</p> <p>①ソフトテニスの基礎技術に関する試験を実施する。 グランドストローク（フォア・バック）、サービス、簡易ゲームによる技術的評価</p> <p>②スポーツテスト（新体力テスト）</p> <p>・50m走、持久走、ハンドボール投げ、反復横とび、長座体前屈、握力、上体起こし、立ち幅跳び ※実施時間数によって上記種目から選択をし、評価に加える。</p> <p>2. 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%）</p> <p>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。 ・ルール等の確認テスト。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>体づくりの運動</p> <p>① 体ほぐしの運動</p> <p>② 体力を高める運動</p>	<p>長期休業後の体力回復、怪我、病気等の予防につながる力を養う。 特に柔軟・心肺機能の向上を目的とする。</p>

	10 11 12	〔球技選択〕 バスケットボール バレーボール サッカー ソフトボール等 ・ゲーム・簡易ゲーム形式中心で実施 体育理論 ・実施する種目のルール・技術の知識の習得	今まで学んできた球技を中心とした種目を、競技レベルに合わせた内容で、自らが主体的となって種目（授業）を展開する力を身に付ける。 生涯スポーツにつなげられるよう、多岐にわたる種目を選択・実施する。 実施する種目ごとに基礎的スキル・ルール、ゲームの進め方についての知識・技能を習得する。
	【課題・提出物】 期末試験前後に選択種目内から選び、レポート・小テストを実施する。		
	【第2学期の評価方法】 ①実技試験（60%） ・主とする実施種目への取り組み及びスキル評価表を基に評価する。 ※選択種目等により評価の違いが出ないように、教科会で審議の上、内容を決定する。 ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	〔球技選択〕	授業を通じて仲間との協力、協調、楽しさや喜びを学習する。 種目のルール、試合運営を学び、仲間と協力してゲームを進める力を身に付ける。
	【課題・提出物】 なし		
	【第3学期の評価方法】 ①実技試験・授業への取り組み（60%） ・主とする実施種目への取り組みを基に評価をする。 ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
	【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末に進学用の仮評定を算出する。 学年末の評定（評価）は1学期・2学期・3学期の実技の平均（60%） 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況（40%） 上記を総合的に判断して評価をする。		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	欠席が少なく、授業への積極的参加ができる。 安全に配慮し主体的に取り組むことができる。 多様性を理解し仲間と協力することができる。 健康・安全に配慮した服装でできる。	観察
思考・判断	自己や仲間の状況に応じて体力向上を目的とした運動を継続できるような計画が工夫できる。 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。	観察
技能・表現	各運動の特性に応じ勝敗を競い合う、攻防が展開できる。 実施する種目の特性に応じ段階的な技能を身に付け、自分が表現したいことができる。	実技テスト 観察
知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称やルールを学び、主体的に試合をすすめることができる。 簡易ゲーム、ミニゲームを運営し、審判などでゲームを進めることができる。	小テスト 観察

4. 学習サポート

実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応をする。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
コミュニケーション英語Ⅲ	5	3	文系・理系

教科書名 Revised BIG DIPPER English Communication III (数研出版)

副教材名 英語速読 10分テスト Rapid Reading 改訂版 Level2 (美誠社)

PATHFINDER【標準編】(いっずな書店)

英単語ターゲット 1200 (4訂版)(旺文社) Listening Platform 2 (いっずな書店)

1. 科目目標

- | |
|---|
| <p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。</p> <p>② 基礎学力到達度テストや大学入試等に意識を向けて、長文読解力を伸ばす。</p> |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容		学習のねらい	
1 学 期	4月 5月	●Rapid Reading 第1回	●PATHFINDER Lesson1	<ul style="list-style-type: none"> 多くの長文読解に取り組み、読解力・速読力を身につける。 英単語の反復練習を行ない、音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する 基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。 	
		第2回	Lesson2		
		第3回	Lesson3		
		第4回	Lesson4		
		■日大チャレンジ			
		1 学期中間試験			
	6月 7月	第5回	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> 多くの長文読解に取り組み、読解力・速読力を身につける。 英単語の反復練習を行ない、音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する 基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。 	
第6回	Lesson6				
第7回	Lesson7				
第8回	Lesson8				
	1 学期期末試験				
	■基礎学対策模試				
	<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 休業期間中の課題 授業用ノート・プリント 				

	【1学期の評価方法】 定期試験素点：70%（1学期中間試験・1学期期末試験） 平常点：30%（提出物・小テスト・授業態度）		
月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9月	■校内日大模試 第9回 Lesson9 第10回 Lesson10 第11回 Lesson11 10月 第12回 Lesson12	・多くの長文読解に取り組み，読解力・速読力を身につける。 ・英単語の反復練習を行ない，音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する。 ・基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。
	2学期中間試験		
	11月	●BIG DIPER Lesson 2 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson 3 Do You Judge people by Their Blood Types? Lesson 5 The 55-Year Race	・情報を追加および列挙する表現を身につける。 ・例を挙げる表現を身につける。 ・時間的順序を表す表現を身につける。
	12月	Lesson6 After the Flowers Lesson8 <i>Kintsugi</i> Lesson9 Alfred Nobel: A Person of Peace	・因果関係の表現を身につける。 ・対比の表現を身につける。 ・譲歩の表現を身につける。
	2学期期末試験		
	【課題・提出物】 ・休業期間中の課題 ・授業用ノート・プリント		

	【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12月	Lesson 17	・語彙，表現力を育成する。
	1月	The Shoe That Grows	
	【課題・提出物】 ・休業期間中の課題 ・授業用ノート・プリント		
【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（定期試験素点の平均点） 平常点：20%（平常点の平均点）			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	単元毎のテーマに関心を持ち，自ら学習に取り組むことができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
思考・判断	単元毎のテーマに関して，自ら考え，自らの意見を持っている。	授業への参加姿勢
技能・表現	英語を用いて正しく単語・文法を書くことができる。また，自分の意見を相手に伝えようとする。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
知識・理解	日本語訳に頼ることなく，英語の内容を理解することができる。	小テスト 定期試験

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

受験に向けて『問題を解く→解説を聞く→復習する』のサイクルを大切に，問題を解くために必要な知識を身につけましょう。長文を理解するために必要な単語を予習と復習で，文法知識を授業で習得しましょう。繰り返し復習することを習慣にし，受験に必要な長文読解の力を身につけましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
英語表現Ⅱ	3	3	文系・理系

教科書名 Vision Quest English Expression II Hope

副教材名 スクランブル英文法・語法 Basic 3rd Edition

スクランブル英文法・語法 Basic 3rd Edition 準拠トレーニング問題集

1. 科目目標

- | |
|--|
| <p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</p> <p>② 基礎学力到達度テストや大学入学共通テスト等に意識を向けて、単語や文法の力を伸ばす。</p> |
|--|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい		
1 学 期	4月	【スクランブル英文法】 第1－1章 動詞・文型① 第1－2章 動詞・文型② 第2章 時制 第3章 受動態 第4章 助動詞 ○日大チャレンジ	・基礎学力到達度テストの文法の問題を学習する。		
	5月				
	1 学期中間試験				
	6月			第5章 不定詞 第6章 動名詞 第7章 分詞 第8章 仮定法 第9章 名詞・冠詞 第10章 代名詞 第11章 関係詞 ○基礎学対策模試	・基礎学力到達度テストの文法の問題を学習する
	7月				
1 学期期末試験					
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・休業期間中の課題 ・授業用ノート・プリント 					
【1 学期の評価方法】 定期試験素点：70%（1 学期中間試験・1 学期期末試験） 平常点：30%（提出物・小テスト・授業態度）					

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9月	○校内日大模試	・基礎学力到達度テストの文法の問題を学習する	
	10月	第12章 形容詞・副詞 第13章 比較 第14章 接続詞 第15章 前置詞 第16章 疑問・否定 第17章 強調・倒置・省略		
	2学期中間試験			
	11月	【Vision Quest English Expression II Hope】 Part 2 Lesson 1～3	・「パラグラフの構成／列挙・順序」, 「例示・追加」,「比較・対照」を学習する。	
	12月	2学期期末試験		
	【課題・提出物】 ・休業中の課題 ・授業用ノート・プリント			
【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	12月	Lesson 4～5	・「原因・理由・結果」,「要点・要約」を学習する。	
	1月			
	【課題・提出物】 ・授業用ノート・プリント			
	【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（定期試験素点の平均点） 平常点：20%（平常点の平均点）				

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで授業に参加し、積極的に意見を述べることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
思考・判断	論理的に物事を捉えることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
技能・表現	話すこと・書くことを通して、自分の考えを正確に表現することができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
知識・理解	文法を用いて英文を構成することができる。	小テスト 定期試験

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

文法は長文を読み解く大切な要素です。基礎の復習を徹底して行ない、系統的に理解しましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
情報の科学	1	3 学年	I・IIコース

教科書名 情報の科学（日本文教出版）

副教材名 情報モラル（数研出版）

1 科目目標

- | |
|---|
| <p>① 現代社会の基盤を構成している情報にかかわる知識や技術を，科学的な見方・考え方で理解し習得する。また情報を利用する上で大切なモラルの向上を目指す。</p> <p>② 各種情報機器やインターネットの利用を通じて，科学的思考力や判断力などを養う。</p> <p>③ 各種プログラミングを通じて問題解決能力を身に付ける。</p> |
|---|

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ガイダンス ● PC・教室利用について ● PCの個人設定 ● タイピング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの個人設定を行い，利用環境を整える。 ・タイピングソフトの利用の仕方を確認し，タイピングに取り組む。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アルゴリズムとプログラミング JavaScript ● 処理手順 ● いろいろなアルゴリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの流れを構造的に図示できるフローチャートや処理手順について理解する。 ・JavaScriptプログラミングを行い，動作させることができる。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ネットワークの動作としくみ ● 通信の仕組み ● IPアドレス，ホスト名 ● プロトコル ● インターネットの仕組み ● ドメイン名 ● DNSサーバの役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信に必要な知識や用語を理解し，その仕組みや役割について理解できる。 ・インターネットの仕組みや各種機器の役割を理解し，実際に通信するための情報をネットワークから取得できる。
	7	1 学期期末試験	
<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>			
<p>【1 学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 1 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ インターネット ● WWW について ● URL の概念 ● Web ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページが閲覧できる仕組みを知り，Web サイトを表す URL の構造や意味を理解する。 ・ Web ページを便利に利用するため，検索サイトの構造や使用法について理解する。 ・ インターネットを利用した犯罪や脅威について理解する。 ・ インターネットや情報を安全に利用できるような仕組みについて理解し，安全な利用法について理解する。 ・ 不正なアクセスやなりすましなどから情報を守るセキュリティ技術について理解し，安全に情報を管理し利用しようとする意識を持つ。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報セキュリティ 1 ● 不正アクセス ● ファイアウォール ● コンピュータウイルス ● スパイウェア 		
		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報セキュリティ 2 ● 情報の暗号化の仕組み ● 共通鍵暗号方式 ● 公開鍵暗号方式 ● 電子署名，ハイブリッド暗号方式 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 表計算ソフト ● 表計算ソフトの基礎 ● 計算式 ● 基本の関数 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く一般に利用されている表計算ソフトの使い方を理解し，計算式や関数を使用して計算の自動化ができる。
	12	2 学期期末試験		
<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>				
<p>【2 学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 2 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>				

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表計算ソフト ● いろいろな関数 ● グラフ表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトで使用できる便利な関数について知識を深める。 ・グラフ作成の技術を身に付ける。
	【課題・提出物】 実技演習課題		
	【3学期の評価方法】 1学期と2学期の学期末試験をあわせて評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末の成績を統合して評価する。			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
関心・意欲・態度	情報に関わる内容に興味を持ち、進んでタイピングやプログラミング等の実習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングテスト ・プログラミング ・授業時の取り組み
思考・判断	モラルやセキュリティに興味を持ち、情報を正しく判断できる。 処理手順を理解し適切なプログラムを構築できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習課題 ・プログラムエラー処理
技能・表現	プログラミング、エラー処理等の一連の作業ができ、プログラムを動作させることができる。またブラインドタッチなどの技能を修得し、すばやい入力ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムエラー処理 ・実技演習課題
知識・理解	情報に関する知識や用語の意味を知り、適切に利用できる。また OS やアプリケーションソフトの使い方を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実技演習課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ、ブラインドタッチに挑戦しましょう。 ・実技については、毎時間課題を課し、時間ごとの内容を確認するのもしっかり覚えましょう。
--

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
総合探究	1	3年生	全

教科書名 なし ※プリント学習
副教材名 なし _____

1. 科目目標

- | |
|--|
| <p>① Use active learning to foster independent thinking in a group setting.
② Cooperate with class members to solve problems through discussion.
③ Present individual and group ideas in front of the class.</p> |
|--|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Task 1 What' s cooking?	Instructing others Presenting in front of other people
	5	Task 2 Class Survey	Creating and conducting a survey Reporting and presenting findings
	6		
	7	GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test
【課題・提出物】 N/A			
【1学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Task 3 My Prized Possession	Presenting individually about a possession, describing it and explaining why it is important to you
	10	Task 4 Nandemokantedan	Presenting an item to other groups Understand descriptions in order to choose wisely as a group
	11		
	12	Task 5 Work, Work, Work	Choosing the right person for an occupation through group discussion Stating reasons for opinions
		GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test

	【課題・提出物】 N/A	
	【2学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher	
	月	学習内容
3 学 期	1	Task 6 Revitalizing Fukushima
		学習のねらい
		Designing a project to revitalize Fukushima Giving reasons and explaining ideas in a presentation
	【課題・提出物】 N/A	
	【3学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher	
【年間の学習状況の評価方法】 Observation by homeroom teacher		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	Participation in group discussions	Observation by homeroom teacher
思考・判断	Sharing thoughts in presentations	Observation by homeroom teacher
技能・表現	Smoothness in presentation	Observation by homeroom teacher
知識・理解	Content of discussions and presentations	Observation by homeroom teacher

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

Try to speak only in English.
Say at least a few things in English every week.
Use a dictionary every lesson.
Try your best!